

## 第20回福井県嶺南地域流域検討会の審議内容のご紹介

### 北川水系の河川整備について

北川水系の河川整備について、河川管理者より説明が行われました。

- 7月上旬に開催した住民説明会の開催報告
- 前回(第19回)の検討会における質問事項の回答
- 河川整備計画における整備内容について
- 北川水系河川整備計画(原案)について

#### ◎委員からの主な意見

##### ◆住民説明会の開催報告について

1. 今回の住民説明会は、利水関連についての事前の案内が不足しているように思える。小浜市での参加者が少なかったのも、そのようなことが原因なのではないか。

⇒【事務局】次回の住民説明会では、利水関連についても説明を行う旨を案内するよう工夫したいと思います。

##### ■住民説明会開催概要

- 1 河川整備基本方針・河川整備計画について
- 2 北川水系の河川の現状と課題について  
(治水・利水・環境)
- 3 河川整備計画策定河川について
- 4 河内川ダムについて

【若狭町での住民説明会状況】



開催地	小浜市	若狭町
日程	平成20年7月5日(土)	平成20年7月7日(月)
開催場所	サン・サンホーム (小浜市総合福祉センター)	若狭町歴史文化館 (上中公民館)
参加人数	14名	64名

##### ◆水質シミュレーションについて

1. 水質シミュレーションについては、今後、2次元モデルでの検討や常数の検討などを、行った方がいいのではないか。

2. 北川は、西日本で最もきれいな川であり、河川管理者として、それを維持されていくことを望む。

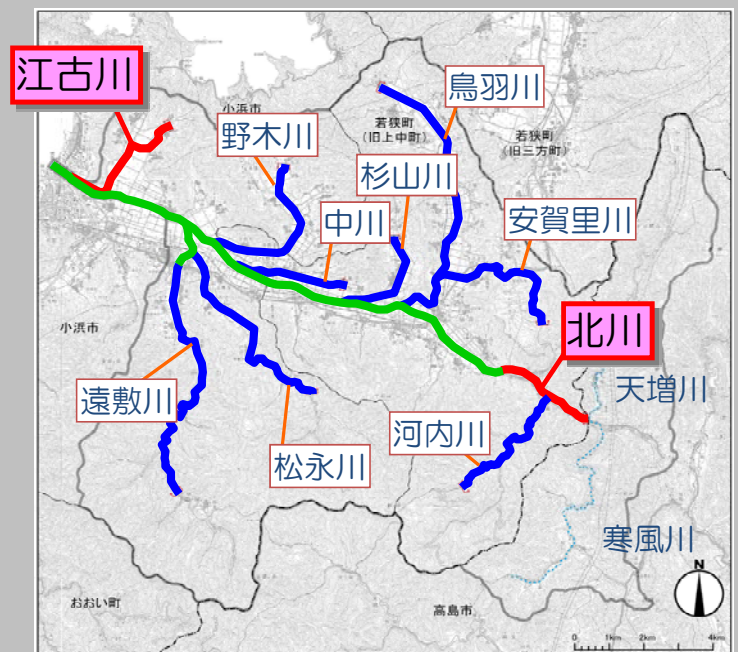
⇒【事務局】今後は、国の専門家による会議(土木研究所や国総研)でシミュレーションの結果などを見てもらいながら、検討を続けていきたいと考えています。

### ◆江古川の治水対策案について

1. 江古川の河川整備目標を 1/10 と設定しながら、下流からの背水については 1/100 相当である本川の計画高水位としている。この場合の確率規模は、どう解釈すればいいのか。過大ではないのか。計画高さについて、次回に再度説明して欲しい。
  2. 対策工法の比較においては、H16年の台風で2日間ほど家に帰ることが出来ない住民もいたことから、水が早く引けるといった要素も考慮する必要があるのではないかと。
  3. 江古川の改修における河内川ダム建設の関係について教えてほしい。
- ⇒【事務局】基本的に両者は別の独立した計画です。しかし北川の水位は、ダムの効果を見込んで設定していますので、計画上の整合も図れています。  
次回検討会で再度詳しく説明します。

### ◆河川整備計画（原案）について

1. 適切な土地利用への誘導について、何か具体的な戦略はあるのか。  
⇒【事務局】たとえば、輪中堤による対策を行う場合、輪中堤外の区域を危険区域に指定し、建築高さ等に制限を加える方法などがあります。
2. 水防団について、現状や将来の見通しをどのように考えているのか。  
⇒【事務局】団員の減少や高齢化など、決して明るい見通しはなく、非常に難しい課題ですが、少ないなりに、より効率的な活動ができるような、連携や体制の強化を行っていきたくと考えています。
3. 農地転用時に適切かどうかの判断を行う場合、縦割りではなく、全般的に協議する機関が必要ではないか。県の中でも、横の協働が可能となるシステムづくりを行って欲しい。
4. たとえば、防災に対する知恵や水とのかかわり合いなど、流域全体についての自然、歴史、文化、災害やそれらの調査研究について、住民に伝えていくこと、また、伝えていく方法を考えていくことが重要である。
5. 鳥類としての現状ということでは、猛禽類を主とする希少動物も挙げられており、全体的な紹介はされていると思う。内容については、少ないページで紹介するには限界がある。
6. 魚類の生息環境の観点からは、「遡上が妨げられている箇所もあります」といった現状を記載するだけでなく、「改善すべき余地がある」といったような主張を記載することが大事なのではないか。



北川流域と県管理河川  
(太枠は整備計画策定河川)